

令和7年度 旧小笠北幼稚園園舎解体工事

図面タイトル	図面番号
解体工事特記仕様書 1/2	K-01
解体工事特記仕様書 2/2	K-02
配置図（現況）	K-03
配置図（園舎解体後）	K-04
仮設計画図	K-05
石綿含有建材撤去図 1/2	K-06
石綿含有建材撤去図 2/2	K-07
昭和51年度 園舎建築工事	
(01) 図面表・内外仕上表	K-08
(02) 特記仕様書	K-09
(03) 配置図・案内図・公図	K-10
(04) 平面図	K-11
(05) 南 及 北立面図	K-12
(06) 西 及 東立面図	K-13
(07) 保育室 矩計図	K-14
(08) 遊戯室 矩計図	K-15
(09) 保育室 平面詳細図 及 展開図 背面ロッカー棚詳細図	K-16
(10) 遊戯室 平面詳細図 及 展開図	K-17
(11) 職員室、保健、更衣、洗濯室、教材室、会議室 平面詳細図 及 展開図 他	K-18
(12) 会議室、職員室、更衣、保健、印刷 各 展開図、足洗 詳細図	K-19
(13) 廊下 及 給食受室 詳細図	K-20
(14) 便所 詳細図 及 展開図	K-21
(15) 手洗 詳細図	K-22
(16) 天井伏図	K-23
(17) 屋伏図	K-24
(18) 建具指示平面図	K-25
(19) 建具表No.1	K-26
(20) 建具表No.2	K-27
(21) 基礎伏図	K-28
(22) 基礎詳細図	K-29
(23) 小屋伏図 断面リスト	K-30
(24) 軸組図	K-31
(25) A列 及 5通り 鉄骨詳細図	K-32
(26) C列 及 5通り 鉄骨詳細図	K-33
(27) 電気設備特記仕様書、照明器姿図	K-34
(28) 電灯設備配線図	K-35
(29) 通信設備配線図	K-36
(30) 火災報知機設備配線図	K-37
(31) 衛生設備特記仕様書	K-38
(32) 屋外平面図 機器表	K-39
(33) 平面図	K-40
(34) 便所 平面詳細図	K-41
(35) 手洗 平面詳細図	K-42

図面タイトル	図面番号
平成元年度 園舎増築工事	
(A-02) 特記仕様（1）	K-43
(A-03) 特記仕様（2）	K-44
(A-04) 特記仕様（3）	K-45
(A-06) 平面図	K-46
(A-07) 平面詳細図	K-47
(A-08) 立面図	K-48
(A-09) 矩計図	K-49
(A-10) 鉄骨詳細図	K-50
(A-11) 雑詳細図	K-51
(A-12) 基礎伏図、小屋伏図、軸組図、基礎詳細図	K-52
(A-13) 屋根伏図、天井伏図、建具表	K-53
(A-14) 展開図	K-54
(E-02) 電灯設備配線図	K-55
(E-03) 通信設備配線図	K-56
(E-04) 火災報知機設備配線図	K-57
(P-02) 平面図	K-58
平成18年度 耐震補強工事	
(D-01) 補強後平面図	K-59
(D-02) 補強後立面図 1	K-60
(D-03) 補強後立面図 2	K-61
(D-04) 建具表	K-62
(S-01) 小屋伏図（補強後）	K-63
(S-02) X通り軸組図（補強後） 1	K-64
(S-03) X通り軸組図（補強後） 2	K-65
(S-04) Y通り軸組図（補強後） 1	K-66
(S-05) Y通り軸組図（補強後） 2	K-67
(S-06) 補強詳細図 1	K-68
(S-07) 補強詳細図 2	K-69
(E-01) 電気設備図	K-70
平成21年度 排水設備改修工事	
(M-04) 現況屋外排水設備図	K-71
(M-05) 改修後屋外排水設備図	K-72
(M-07) 合併浄化槽詳細図	K-73
平成30年度 空調設備整備工事	
(E-04) 配置図	K-74
(E-05) 盤図	K-75
(E-06) 動力設備工事 平面図	K-76
(E-07) 空調制御配線設備工事 平面図	K-77
(M-03) 空調設備工事 機器表	K-78
(M-04) 空調設備工事 平面図	K-79

注1) 図面（K-08～79）については参考図（既往工事図面）であり、現況を正確に示すものではないため、着手前に現場調査を行い、状況を十分把握すること。

注2) 設計図書に明記のない建物・地中埋設物等が確認された場合は、監督員と協議の上処理方法を決定する。ただし、建物に付帯する軽微なもの（設備配管・配線類及び機器類並びに仕上材、造作備品等）は解体撤去対象物とし、協議の対象としない。

5章 特別管理産業廃棄物の処理

1 施工調査 (5.1.2)

Table with 4 columns: 分析調査を行う特別管理産業廃棄物の種類, 採取する部位又は箇所等, 採取する数量, 備考

2 特別管理産業廃棄物の処理 (5.4.1)

Table with 3 columns: 特別管理産業廃棄物の種類, 処理施設の名称等, 所在地等

注)上記については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

3 PCBを含む機器類 (5.4.1)

引渡しを要する機器類
注)PCBを含む機器類は、適切な容器に取め、表示を付して調査と共に監督職員に引き渡すこと。
微量PCBの分析調査
調査対象機器

4 シート材の調査及び撤去 (5.4.1)

第一次判定(シート材種の判定)
日本シート材工業会に次のシート材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。
判定結果については、監督職員に速やかに報告する。
シート材採取箇所
採取箇所数
採取方法は「PCB含有判定シート材の採取方法(日本シート材工業会)」を参考にすること。

第二次判定
PCB含有量の判定
石綿含有量判定
専門分析機関に次のシート材のサンプルを送付し、含有量の分析を行う。
除去し、採取部の内部(大気にさらされていない部分)を取り出して分析する。
監督職員に速やかに報告する。

5 廃油 (5.4.1)

廃油の処理
焼却処分
処理施設等の名称
所在地等
中間施設で再生処理
処理施設等の名称
所在地等

6 廃酸、廃アルカリ (5.4.1)

鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液
処理方法
製造業者に委託
製造業者の名称
吸収冷凍機、直置き吸収冷水機等の臭化リチウム水溶液等
処理方法
製造業者に委託
製造業者の名称

7 ダイオキシン類 (5.4.1)

シート材調査
空気中のダイオキシン類濃度測定
解体工法
処分方法

6章 石綿含有建材の除去及び処理

1 石綿粉じん濃度測定 (6.1.3)

石綿粉じん濃度測定
測定室
成形板の除去の際は、原則として粉じん濃度測定を実施しない。

Table with 6 columns: 適用, 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定点(各施工箇所ごと), 備考

注1 各施工箇所ごとの室面積が50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。300m2を超えるものは、監督職員と協議する。

Table with 2 columns: 測定名称, 測定方法

Table with 4 columns: 測定名称, フィルター径(mm), 試料の吸引流量(L/min), 試料の吸引時間(min)

2 石綿含有吹付材の除去工法 (6.3.1~4)

除去対象範囲
除去工法
除去した石綿含有吹付け材等飛散防止措置
処分方法

3 石綿含有保温材等の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む) (6.4.1~4)

除去対象範囲
除去工法
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
除去した石綿含有保温材等の処分

4 石綿含有成形板の除去 (6.5.1~4)

除去対象範囲
石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去した石綿含有成形板の処分

石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲
隔離養生(負圧不要)方法
足場
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

5 石綿含有建築用仕上塗材又は下地調整材の除去 (6.6.1~5)

対象仕上塗材
石綿含有の下地調整塗材
下地調整塗材の除去
除去対象範囲
除去工法

除去工法の試験施工
作業場の隔離及び養生
除去した石綿含有仕上塗材の処分

6 建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理 (6.6.1)

対象箇所
除去方法

7章 特殊な建設副産物の処理

1 特殊な建設副産物の改修及び処分

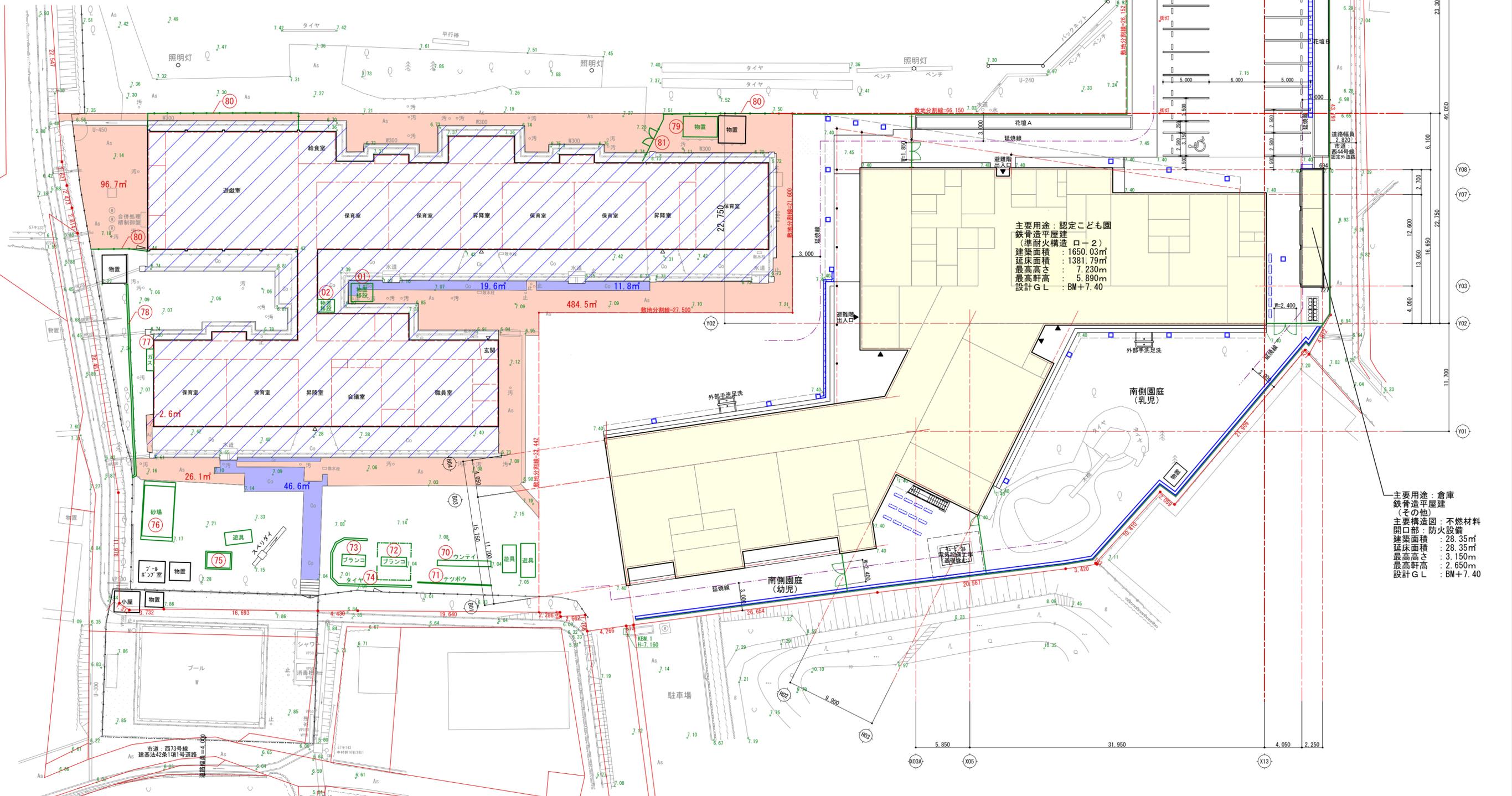
Table with 5 columns: 回収又は処分を行う特殊な建設副産物の種類, 対象機器名称, 分析調査, 回収業者又は処分場の名称等, 保管場所、処分場の所在地等

注)上記については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

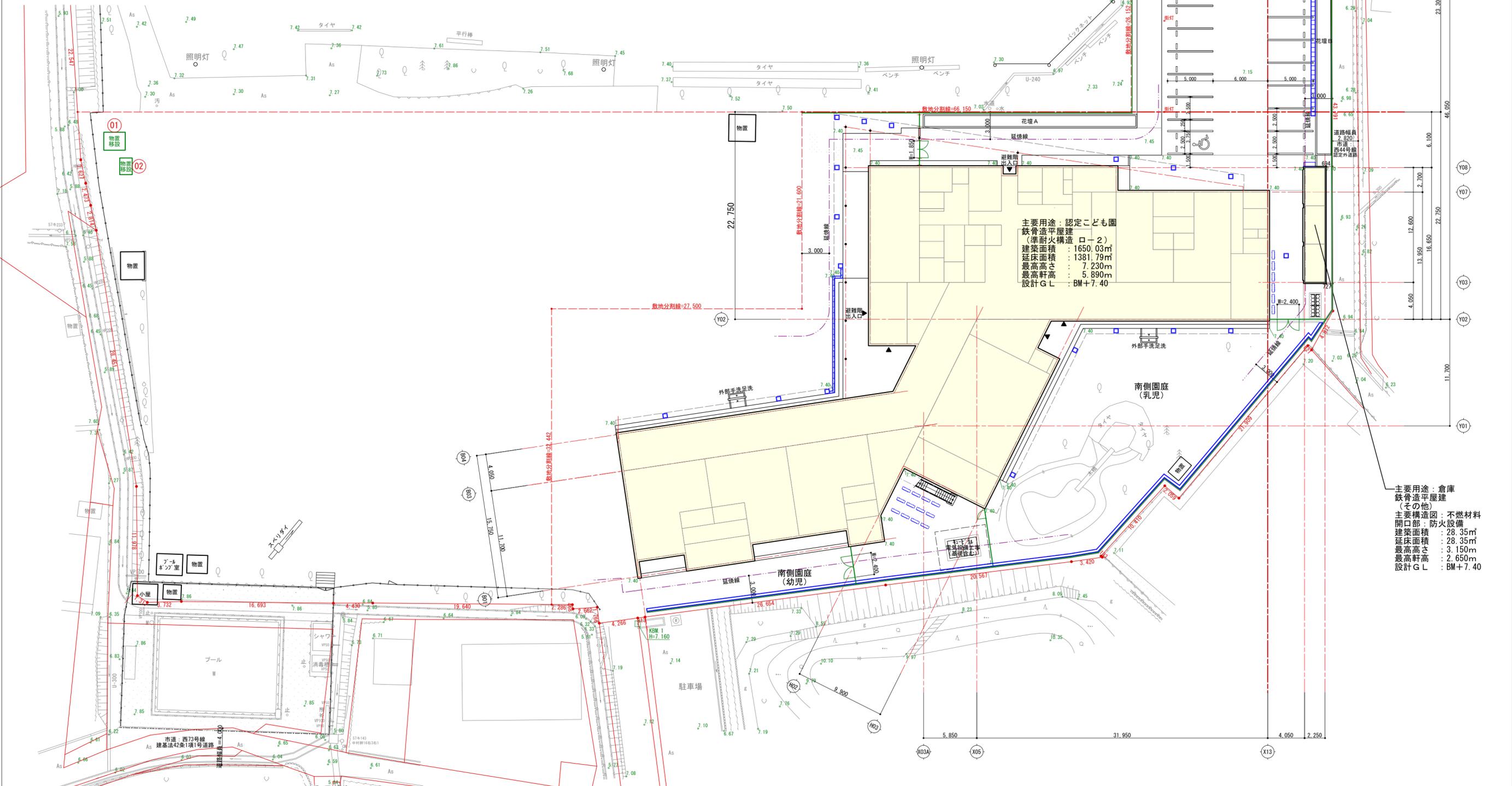
2 冷媒(フロン類)の回収

業務用冷凍空調機器(第1種特定製品)は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の定めに従って行う。
特定家庭用機器再商品化法(平成10年法律第97号)の対象となるものは、同法の定めに従って行う。

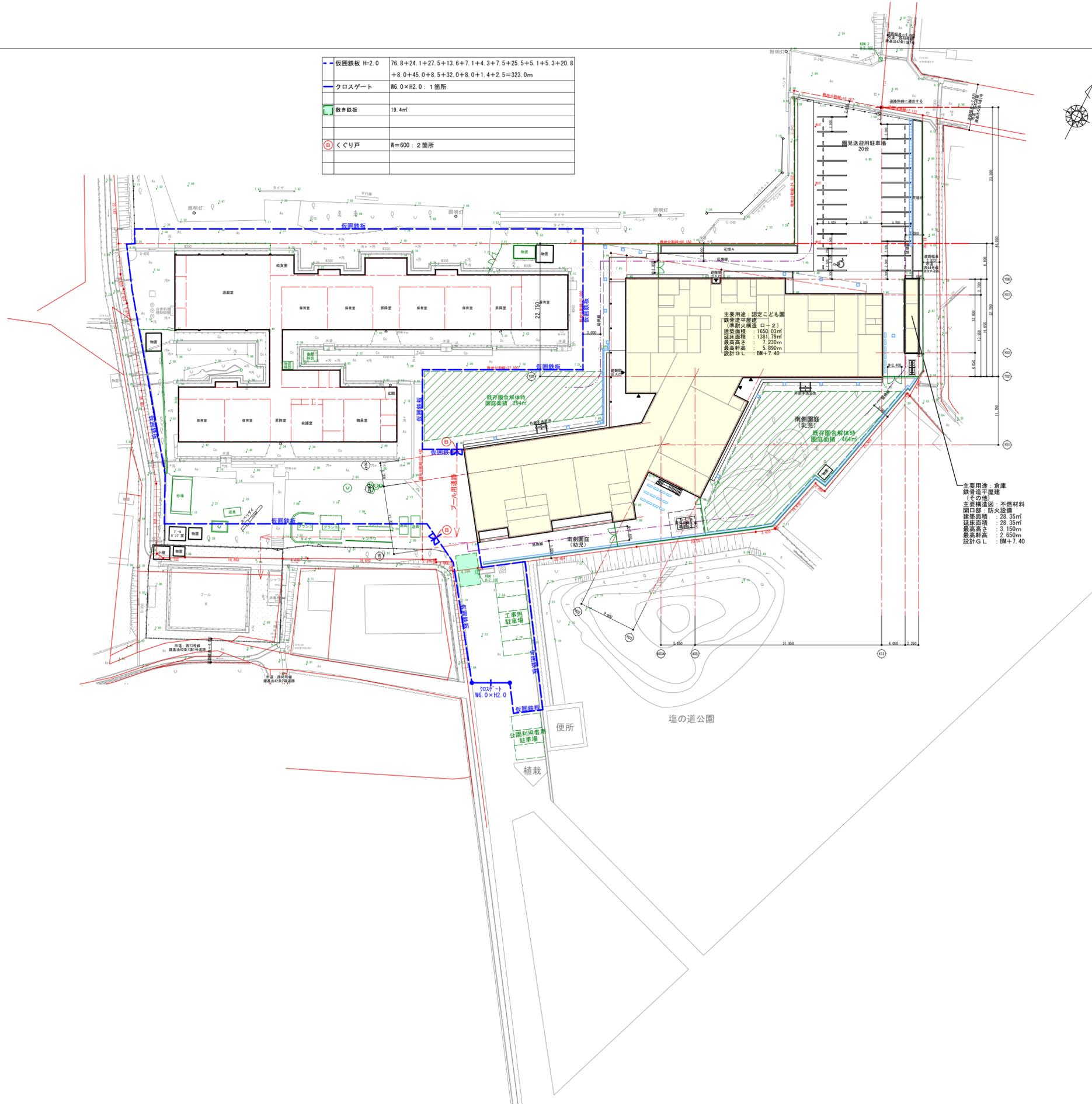
01 物置(移設)	鉄骨ﾌﾟﾚｯﾄ、4.6㎡ ※敷地内仮移設	70 ウンティ	鉄骨製	80 フェンス	メッシュフェンス H=1,000程度
02 物置(移設)	鉄骨ﾌﾟﾚｯﾄ、2.4㎡ ※敷地内仮移設	71 鉄棒	鉄骨製		L=14.0+1.8+2.1+1.8+16.4+1.8+6.1=44.0m
		72 ブランコ	鉄骨製、柵共		
		73 ブランコ	鉄骨製	81 フェンス(両開)	メッシュフェンス W1800×H1500・1箇所
		74 タイヤ	φ700×11個		
		75 RC縁石	2.83+1.91+2.83+1.91=9.48m		
		76 砂場	鉄骨ﾊﾞｰｺﾞﾗ、21.8㎡		
		77 ガｽﾞﾝﾊﾞ置場	コンクリート基礎、1.8㎡		
		78 植栽見切	コンクリート製・21.0m		
		79 物置	鉄骨ﾌﾟﾚｯﾄ、8.2㎡		
					ﾌﾞﾙｰｱｽﾌﾙﾄ舗装 96.7+484.5+26.1+2.6=609.9㎡
					ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 19.6+11.8+46.6=78.0㎡
					建物本体(園舎) 一式(合併処理浄化槽・外部足洗含む)



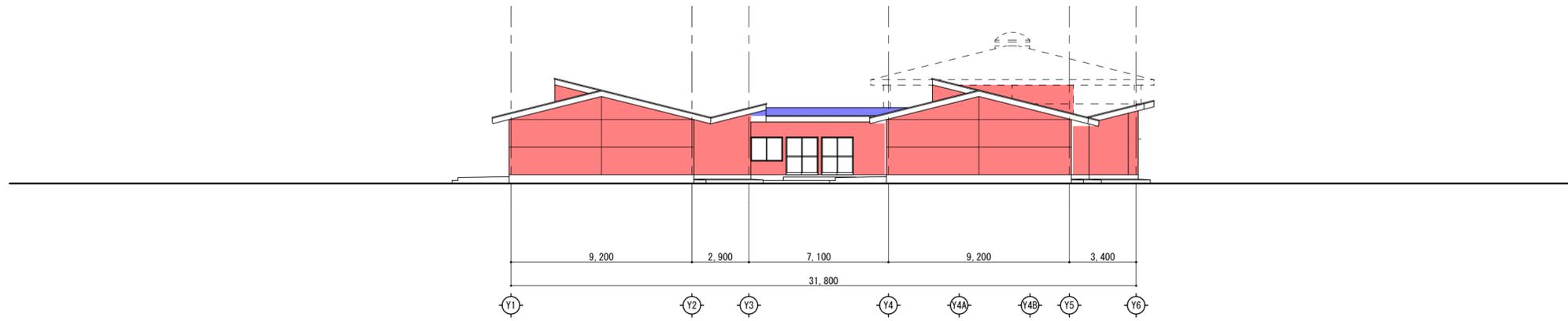
01	物置(移設)	鉄骨7'11/2'、4.6㎡	※敷地内仮移設
02	物置(移設)	鉄骨7'11/2'、2.4㎡	※敷地内仮移設



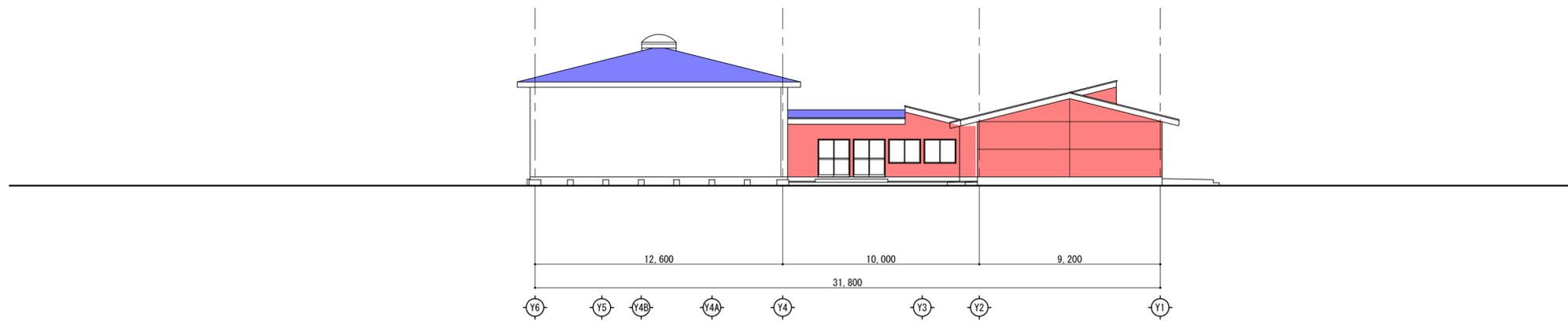
仮囲鉄板 H=2.0	76.8+24.1+27.5+13.6+7.1+4.3+7.5+25.5+5.1+5.3+20.8 +8.0+45.0+8.5+32.0+8.0+1.4+2.5=323.0m
クロスゲート	W6.0×H2.0 : 1箇所
敷き鉄板	19.4㎡
くぐり戸	W=600 : 2箇所



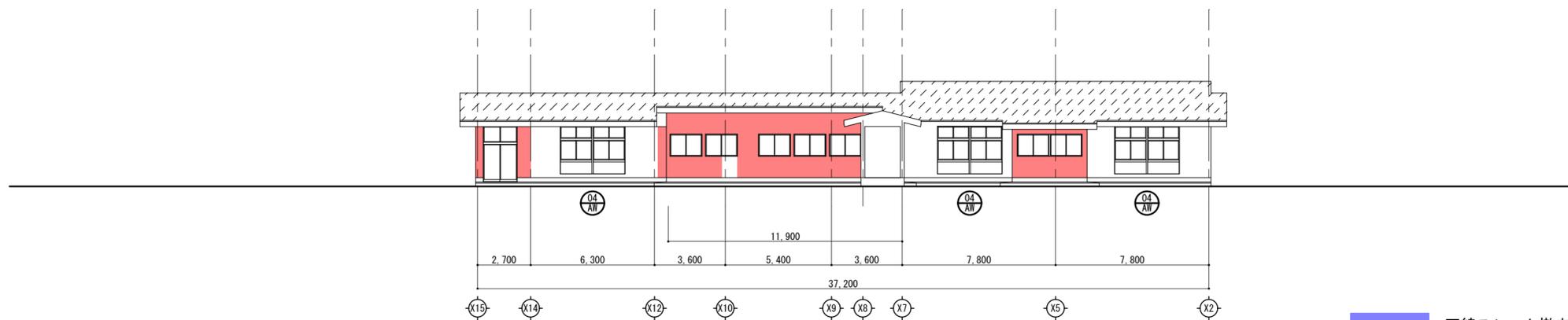
新園舎園庭の面積 (既存園舎解体時)
 必要園庭面積 : 679.6㎡
 園庭面積合計 : 294+428=722㎡
 679.6 ≤ 722 . . . OK



東立面図 1:200

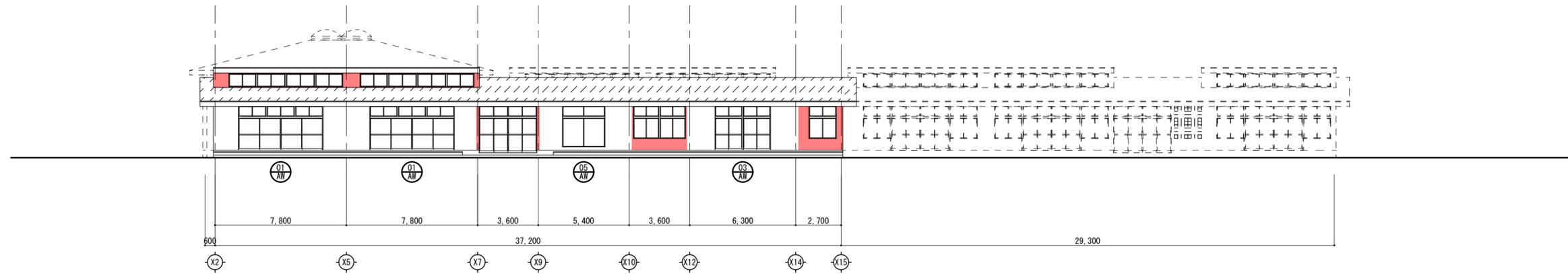


西立面図 1:200



A棟北立面図 1:200

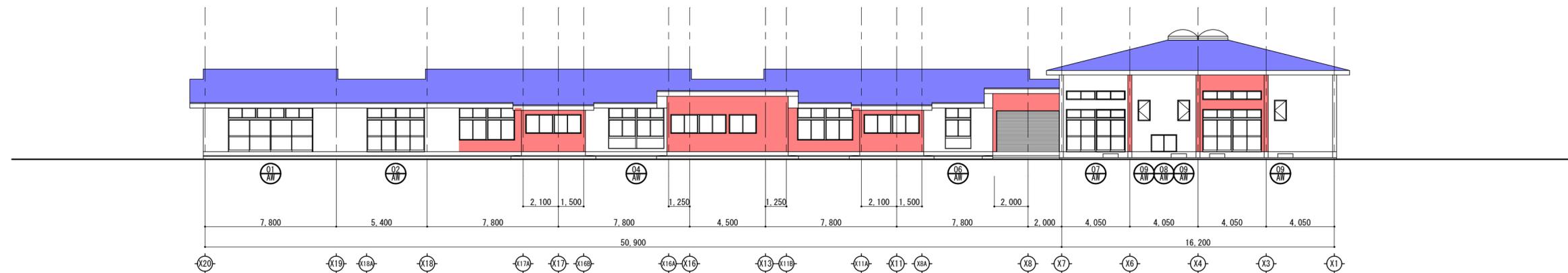
- 石綿スレート撤去範囲
- 石綿含有仕上塗材除去範囲
- GL鋼板t=0.4平葺き（石綿スレート撤去済み）



A棟南立面図 1:200



B・C棟南立面図 1:200



B・C棟北立面図 1:200

図面表

1	意匠	図面表、内外仕上表	
2		特記仕様書	
3		配置図、案内図、公図写	
4		平面図	S:1:100
5		南及北立面図	S:1:100
6		西及東立面図	S:1:100
7		保育室 矩計図	S:1:20
8		遊戯室 矩計図	S:1:20
9		保育室平面詳細図及展開図 保育室 背面ロッカー・棚 詳細図	S:1:50 S:1:20
10		遊戯室平面詳細図及展開図	S:1:50
11		職員室、呆機、更衣、便所、洗濯室、教材室、会議室平面詳細図及展開図 他	S:1:50 S:1:20
12		会議室、職員室、更衣、保健 印刷 各展開図、足洗詳細図	S:1:50 S:1:20
13		廊下及給食受室 詳細図	S:1:20
14		便所 詳細図及展開図	S:1:20 S:1:50
15		手洗詳細図	S:1:20
16		天井伏図	S:1:100
17		屋根伏図	S:1:100
18		建具指示平面図	S:1:100
19		建具表 1	S:1:50
20		建具表 2	S:1:50
21	構造	基礎伏図	S:1:100
22		基礎詳細図	S:1:30
23		小屋伏図 断面リスト	S:1:100
24		軸組図	S:1:200
25		A列及 5通り 鉄骨詳細図	S:1:30
26		C列及 4通り 鉄骨詳細図	S:1:30
27	電気	電気設備特記仕様書、照明器 等図	
28		電灯設備配線図	S:1:100
29		通信設備配線図	S:1:100
30		火災報知機 設備配線図	S:1:100
31	衛生	衛生設備特記仕様書	
32		屋外平面図 機器表	S:1:300
33		平面図	S:1:100
34		便所 平面詳細図	S:1:20
35		手洗平面詳細図	S:1:20
36		フェンス 門、国旗掲揚台 詳細図	S:1:20

外部仕上表

名称	仕上
基礎	モルタル刷毛引 基礎板 ミカゲ 300×450
外壁	Dラスモルタル下地 アロンウイニスプレー
屋根	クボタカラーコロニアル 軒裏：有孔フレキシブルボード ④4% A.E.P
樋	軒樋 カラー鉄板 26号加工 150×180、150×150 堅樋 塩ビ VP75φ O.P
建具	アルミサッシ 押見込 70 タイプ オール 70 無目 100
ポーチ	コンクリート 金鍍押工
チラス	モルタルカラークリート 金鍍押工 目地切 靴拭：エルバ・マット 900×1800
足洗	人研

内部仕上表

室名	床	巾木	腰	壁	天井	摘要
保育室	⑩18%ナラフローリングブロック	木 H=100 O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑨%ジプトン、アラスチックボード	背面ロッカー スチール黒板 1200×1800
遊戯室	同 (ワックスコート)	同 上	⑥%ベニヤ目スカシ O.P 下地寒冷沙防リグラス③50%	⑥%ベニヤ目スカシ O.P 下地寒冷沙防リグラス③50%	同 上	可動ステーション
教材(遊戯室)	同 上	同 上	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑨%ジプトン(張り)	戸棚
職員室	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	戸棚、スチール黒板
会議室	ハリ付タタミ敷キ	タタミ寄セ	ジュラクメリ	ジュラクメリ	杉板ベニヤ目スカシ 一部ベニヤ下地クロス張り	テレビ置 洗面黒鏡 同付カラーフィルムディスプレイ
保健室	⑩18%ナラフローリングブロック	木 H=100 O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑨%ジプトン(張り)	戸棚
印刷室	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	戸棚
更衣室	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	洗面器 鏡
教材室	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	戸棚
湯沸室	同 上	同 上	⑥3%フレキシブルボード A.E.P	⑥3%フレキシブルボード A.E.P	同 上	吊り戸棚 流し、ガス台(背戻)
給食受室	モルタル下地カラークリート金鍍押工	モルタルカラークリート	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	④4%フレキシブルボード A.E.P	パン置、牛乳台
便所	丸型モザイクタイル貼り	100角タイル	100角タイル 丸1200×1150	⑥3%フレキシブルボード A.E.P	⑨%アラスターボード E.P	汚物蓋シ、スチール 大便器 小便器 人研手洗
洗濯室	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	物入れ
廊下	⑩18%ナラフローリングブロック	木 H=100 O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑨%ジプトン(張り)	手洗流し
昇降室	ラタン塗布 クリンカータイル(張り)	大面材 H=100	ラスモルタル下地 =下地タイル貼り	ラスモルタル下地 =下地タイル貼り	⑨%アラスターボード下地 クワイート吹付	下足入れ、レコーダ掛
手洗コーナー	25%角モザイクタイル貼り	木 H=100 O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	⑨%ジプトン(張り)	ハアライザー 流し、洗剤付(700ml)
玄関	モルタル下地カラークリート金鍍押工	人研 H=100	⑤5%ベニヤ目スカシ O.P	同 上	同 上	
踏込(会議室)	⑩18%ナラフローリングブロック	木 H=100 O.P	同 上	同 上	ベニヤ下地クロス貼り	
物入れ(同上)	⑤5%ベニヤ	雑布摺	④4%ベニヤ	④4%ベニヤ	④4%ベニヤ	天袋付
廊下物入れ	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	天袋付

A 工事名称	小笠町立小笠北幼稚園々舎建築			
B 工事場所	地名	比番	小笠郡小笠町瑞田	
C 工事概要	建築工事	棟数	鉄骨鉄筋平家建	
	面積	敷地面積	建築面積	
	設備工事	電気設備工事	給排水衛生ガス設備工事(浄化槽)	
D 工事概図	設計図書(図書 特記仕様書 内訳明細書の記載事項)及び 現場説明事項 質疑回答による範囲とする			
E 一般事項	仕様	本特記仕様書の外は別冊 関係建築工事共通仕様書本特記仕様書は仕様の概略を示すものであるから図面と対照して当然施工すべきは勿論、係員の承認と認められた場合は次の項に依り工事数量を超過しないに施工すること。又係員の指示 承認の結果重要と認められる場合は逐々に文書にて監理者に提出し承認を得ること。		
	下請及び材料承認	本工事請負者は工事に先立 各種別下請業者名簿及び 使用材料メーカーリストを提出し 監理者及び 係員の承認を得ること。工事に先立 明細工程表を提出し 工事の進捗 発注者の取替 材料の搬入等に因する 報告書類並びに 試験表 等の工事に 関する 諸手続は 逐次なく行うこと。又係員の指示する書式に依り 工事数量書を作成し 提出すること。		
	工事手具	工事着手前の敷地現況写真から 工事中 工程段階に於ける 主要部分及び 完成箇所 竣工時 外観4面 内観指し箇所4面 各室 外観4面 (工事着手前手札 工事中名刺 竣工時 手札 等) の写真とより 指定のアルバムに 説明及び 撮影年月日記入の上 竣工時に 提出すること。		
	施工及竣工図	監督員の指示により 施工図を作成し 承認を得た後 施工製作に着手すること。工事完了時 竣工図 配管図 平面図 仕上 設備図 等を2部 原本 提出すること。		
	別添工事			
F 工事細目	仮設計画	工事着手前に 仮設計画を作成し 係員の承認を得てから 仮設建物を 設置すること。		
1 仮設工事	監督員事務所	規模は 現場説明による。事務所用機具は 監督員と協議すること。		
	危険防止	仮設は 特に 近道通行者の安全を確保し 有刺鉄線 パネル 板囲い 等に 仮囲いと 設 位置について 係員の承認を受けること。		
	騒音規制	法の対象となる 区域において 騒音を低減する作業(リフト 杭打)等を行う場合は 遠く 関係役所に 提出し 騒音防止の方法について 係員と協議すること。		
	残土処理	現場説明による。		
2 土工	残土処理	現場説明による。		
3 杭工	種類	杭	JIS 規格品 () 設計支持力 () tON/本	
4 コンクリート工事	強度	鉄筋コンクリート所準強度	FC(180) 93cm ² 以上 無筋コンクリート所準強度 FC(135) 96cm ² 以上 スラック基礎(19) cm ² 以上の 21 cm ² 水セメント比(60) %	
	試験	コンクリート打ちに際しては 係員の指示に依り テストピース(6)本を 作製し 風圧及び 4週圧縮強度試験を行い 結果を速に 報告すること。		
5 鉄筋工事	種類	普通型材	パネル 合板型材 其の他	
	打設型材	板厚 21%	ベニヤパネル 錆防止は 専用材を使用すること。	
6 鉄骨工事	種別	JIS 規格品	共通仕様書に依る 圧接に依る 場合 圧接作業員は 日本圧接協会 技量試験合格者とする。	
7 組積工事	種別	種別(B) 種	種 (10) cm ² (15) cm ² 配筋間隔なき場合 タテ 99 200 横 99 200 開口部上部には まくこと 設け 開口部 及び 隅角部は 13% を 配筋すること。	
	施工法	リベット工作	リベット SV41A ホール工作 ホール SS41 摩擦接合用高張力ボルト B1186 溶接工作 溶接工の 資格証明の 取し 並に 経歴書を 提出し 承認を受けること。	
8 防水工事	モルタル防水	マニュアル又は 同等品以上 監理者の承認を受ける。		
9 タイル及び石工事	シート 防水	品名	厚 工法 又は 同等品以上 責任施工とする 係員書提出	
	旅行業者	責任旅行及び 保障書 提出出来るもの 監理者の承認を受ける。		
10 木工工事	タイル工法	A) タイル工法 JA SS 19-14 に依る B) 石工法 JASS 9K に依る		
	木材	使用部分	材 種 品 年 注 特記なき場合 下記のものは 特記使用のこと	
	構造材	柱 梁 桁 材	杉 松 材 輸入材 2等	上台 釘元材 両方材材(漆塗 使用 有り)
	下地材	柱 梁 桁 材	杉 松 材 輸入材 1等	各種 敷設 5mm 未満 及び 同等品 有り
	造作材	柱 梁 桁 材	杉 松 材 輸入材 1等品(上小径) 7/10	注 柱と同等と認められる 輸入材(下記による)
造作材	柱 梁 桁 材	杉 松 材 輸入材 葉茂材	表 松 米 松 台 松 又 7/10 又	

11 屋根工事	着色カラー 鉄板	使用材料は 貝星カラー マルイス サクラ印 シンク鉄板又は同等品
	カラーベスト	クボタカラーベスト コロニアル 又は同等品
	決定	見本品提出により決定する
12 全品板金工事	軽重量 鋼天吊下地	日本軽鉄(株) NK 日本鉄鋼(株) 日本建工(株) (株) フジテン(株) SK スチール(株) 又は同等品とし 係員の指示する工法により 施工 作成 承認を受け 施工する 天井埋込金具等の 埋設 する 場合 予め 図面にて 補強すること
	加工	軒樋 カラー 鉄板 堅樋 コート 掛 ドラス 鉄板に 止り止め
13 圧入工事	加 工	全工 加工 図面 提出 により 係員の 承認 を受けること
14 鋳造 基礎工事	型	型 鋳 鋼 天吊 下地
	材料	アルミカスシ 理研 三協 美山 YKK 不二 又は同等品 一般用 見本 70% シューター スチールサッシ
15 木製 家具工事	材 種	杉 松 輸入材 見本 出入口 36 窓 33
	金 物	建具 備品 必要な 場合 シリナー 錠 美和 コール 丁番類 ベスト ベンギン ドア 金物 フローリング (NHN ニュースター) 其の他 ベスト ベンギン 同等品 以上 とする
16 ガラス工事	種 類	透明ガラス(並 30%) 網入りガラス 6.8% 型ガラス 40% フロートガラス
	工 法	シアンコートサッシュ(ネオフレックス) オートコートサッシュ(ネオコートコーティング)
	メーカ	日本板硝子 旭硝子 セントラルガラス 日本電業 岩田 島田 同等品 以上 見本品 提出 により 決定する
17 塗装工事	外 壁	了口ウレタン スプレー(兼 兼成化学) 又は同等品
	塗 装 回 数	木部 3 回塗 鉄部 2 回塗 外壁 モルタル コンクリート 鉄部 3 回塗
	メーカ	特記なきものにおいては 日本ペイント 関西ペイント 又は同等品 全工 見本品 提出 により 決定する
18 内装工事	フロアリング	フロアリング ブロック 使用材料は JAS 表示 許可 工場の 製品 又は 日本 フロアリング 検査 会 の 検査 合格 品 JAS 規格 に 合格 の 捺印 がある こと とする
	フローリング	フローリングボード 9% 12%
	フローリング	フローリング 9%
	フローリング	フローリングボード 4%
	フローリング	フローリングボード 4%
	決定	見本品 提出 により 係員の 承認 を受けること
	家具	保育室 教員用 戸棚 正面 戸棚 背面 戸棚 放物 室 戸棚 取原 室 戸棚 印刷 室 戸棚 昇降 口 下 駄 箱
	加 工	専門 職 に 製作 すること 全工 作 図 に 依り 決定
19 造 工 事	鋼 鉄	マニール 900, 1800 ステンレス 5x15 共 ポリトール 室 五 札 (7x15)
	足洗 場 (仮)	
20 外構 築 工 事		
21 その他	記入 工 法	本 設 計 図 面 記 入 工 法 は 特 記 な い 限 り 全 て ミニマム 工 法 と する